



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名 SBテクノロジー株式会社  
 コード番号 4726 URL <https://www.softbanktech.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 阿多 親市  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 清水 哲也 TEL 03-6892-3063  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	40,916	11.4	2,154	42.4	2,162	68.9	1,326	69.8
2019年3月期第3四半期	36,724	2.2	1,513	31.4	1,279	11.6	781	7.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,381百万円(76.8%) 2019年3月期第3四半期 781百万円(1.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	66.26	65.51
2019年3月期第3四半期	39.59	38.85

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	29,105	17,040	54.6	788.17
2019年3月期	27,492	15,857	53.9	747.03

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,890百万円 2019年3月期 14,820百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	7.1	3,000	19.3	2,900	26.6	1,700	22.6	84.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	22,662,200株	2019年3月期	22,340,600株
2020年3月期3Q	2,501,422株	2019年3月期	2,501,279株
2020年3月期3Q	20,018,615株	2019年3月期3Q	19,731,199株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は同日TDnetで開示するとともに、当社ホームページ（<https://www.softbanktech.co.jp/corp/ir/>）にも掲載します。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

国内の企業及び官公庁・自治体のIT戦略は、オンプレミス（社内設置）からクラウドを前提としたクラウドファーストにシフトしております。

情報システム部門が社内向けに提供するコーポレートIT領域においては、働き方改革や人手不足を背景とした生産性向上のためのクラウド導入及び導入後の利活用、加えてセキュリティ対策などの旺盛な需要により、システム投資が堅調に推移しています。

また、戦略事業の強化や競争優位性の確保のために利用するビジネスIT領域においては、DX（デジタルトランスフォーメーション）と呼ばれる、デジタル技術やデータを活用した製品やサービス、ビジネスモデル変革の需要が高まり、IT投資は全般的に増加基調にありました。

このような経営環境の中、コーポレートITソリューションは堅調に推移し、増収増益となりました。マイクロソフト社のSaaS / PaaSを活用したソリューションでは、特にAzureを利用したシステム開発案件が伸長しました。セキュリティ対策ソリューションでは、顧客専用のセキュリティ運用監視やセキュリティコンサルティング案件が増加しました。自社サービスのclouXion（クラウドジョン）においては、「Microsoft Teams」を短期間で導入する「Microsoft Teams 向け簡単導入パック」を新たに追加し、Teams利用の需要増加に対応しています。

ビジネスITソリューションは堅調に推移し、増収増益となりました。注力業界と定めたグローバル製造業向けのIoTシステム開発案件が大きく伸長しました。自社サービスのIoT Core Connectも利用者数が増加しています。一方で、戦略の見直しによりウェブ解析関連ソリューションは縮小しております。

オンプレミス環境のソリューションを提供するテクニカルソリューションでは、第3四半期より開始したソフトバンク(株)のIT領域におけるベンダーマネジメント案件が拡大しました。また、ソフトバンクグループ各社向けの開発案件及び運用サービス案件においても堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

ECソリューションでは、ノートンストアのEC運営代行ビジネスにおいて売上が好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、以下のとおりとなりました。

なお、売上高、限界利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は第3四半期連結累計期間として、過去最高となりました。

(百万円)

	前年同期	当第3四半期	増減	増減率
売上高	36,724	40,916	4,192	11.4%
限界利益	10,509	11,702	1,193	11.4%
固定費	8,996	9,547	551	6.1%
営業利益	1,513	2,154	641	42.4%
経常利益	1,279	2,162	882	68.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	781	1,326	545	69.8%
1株当たり 四半期純利益	39.59円	66.26円	26.67円	67.4%

なお、当社の報告セグメントは「ICTサービス事業」の単一セグメントとしておりますが、「ICTサービス事業」を構成する各ソリューションの内容及び業績については、P.4の「ソリューション区分の説明」をご参照ください。

〈 第3次中期経営計画の進捗 〉

当社グループは「サービスプロバイダーへの進化」と「コンサルティング&ビジネスITの創出」を重点テーマに位置付け、第3次中期経営計画を推進しております。

・サービスプロバイダーへの進化

自社サービスであるclouXion及びマネージドセキュリティサービスのラインアップの拡充を進めました。また、販売代理店契約を整備しパートナー企業と契約締結するなど、ビジネスをスケールさせるための準備を着実に進めております。

・コンサルティング&ビジネスITの創出

グローバル製造業・建設業・農業の分野に注力して協創に取り組んでおります。これらの業界において競争力強化のためのクラウド活用や、お客様のIoTサービス開発支援などを進めており、ビジネスパートナー企業・団体との関係性強化が進んでおります。

また、2022年3月期において、企業のクラウドファースト戦略を実現するコーポレートITソリューション及びビジネスITソリューションの売上高構成比率を50%まで引き上げるとともに、「連結営業利益43億円（2019年3月期を起算にCAGR20%成長）」を達成することを経営指標に掲げております。

当第3四半期連結累計期間におけるコーポレートITソリューション及びビジネスITソリューションの売上高構成比率は前年同期比1.3ポイント増の34.4%となり、営業利益は前年同期比42.4%増の2,154百万円となりました。

〈 ソリューション区分の説明 〉

当社の報告セグメントは、「ICTサービス事業」の単一セグメントとしており、「ICTサービス事業」を構成する主要なソリューションの内容及び業績については、次のとおりです。

なお、第3次中期経営計画で設定した重点施策の進捗を確認できるよう、改めて各社の事業内容とソリューション内容を照らし合わせた結果、前事業年度の有価証券報告書の記載から「ソリューション内容」及び「主な事業会社の名称」の項目を変更しています。

なお、各ソリューション区分の前年同期の金額は現在の計上方法に則して算出しております。

ソリューション区分	ソリューション内容	主な事業会社の名称
ビジネスIT ソリューション	< クラウドビジネス／事業部門向け > ・コンサルティングサービス ・DXソリューション ・AI・IoTソリューション 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・リデン(株)
コーポレートIT ソリューション	< クラウドビジネス／全社・管理部門向け > ・クラウドインテグレーション ・業務効率化サービス ・クラウドセキュリティサービス ・セキュリティ運用監視サービス ・電子認証ソリューション 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株) ・M-SOLUTIONS(株) ・(株)環 ・アソラテック(株)
テクニカル ソリューション	・オンプレミスのシステムインテグレーション ・機器販売、構築、運用保守サービス ・Linux/OSS関連製品の販売、組込開発 等	・SBテクノロジー(株) ・サイバートラスト(株)
ECソリューション	・ECサイト運営代行 ・フォントライセンスのEC販売 等	・SBテクノロジー(株) ・フォントワークス(株)

(百万円)

		前年同期	当第3四半期	増減	増減率
ビジネスIT ソリューション	売上高	2,302	2,550	248	10.8%
	限界利益	831	1,169	338	40.7%
	利益率	36.1%	45.9%	9.8ポイント	—
コーポレートIT ソリューション	売上高	9,846	11,516	1,670	17.0%
	限界利益	4,099	4,663	564	13.8%
	利益率	41.6%	40.5%	△1.1ポイント	—
テクニカル ソリューション	売上高	8,960	10,535	1,575	17.6%
	限界利益	3,334	3,569	235	7.1%
	利益率	37.2%	33.9%	△3.3ポイント	—
ECソリューション	売上高	15,615	16,313	698	4.5%
	限界利益	2,244	2,300	55	2.5%
	利益率	14.4%	14.1%	△0.3ポイント	—
計	売上高	36,724	40,916	4,192	11.4%
	限界利益	10,509	11,702	1,193	11.4%
	利益率	28.6%	28.6%	0.0ポイント	—

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(百万円)

	前期末	当第3四半期末	増減
総資産	27,492	29,105	1,613
純資産	15,857	17,040	1,183
自己資本比率	53.9%	54.6%	0.7ポイント

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より1,613百万円増加して29,105百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末より1,275百万円増加しました。固定資産は、建物の増加などにより、前連結会計年度末より337百万円増加しました。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より430百万円増加して12,065百万円となりました。流動負債は、買掛金の増加などにより、前連結会計年度末より477百万円増加しました。固定負債は、リース債務の減少などにより、前連結会計年度末より46百万円減少しました。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末より1,183百万円増加して17,040百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

なお、2019年4月24日に公表しました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,728	9,631
受取手形及び売掛金	10,011	9,356
商品	36	145
仕掛品	259	925
その他	973	1,225
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	20,008	21,283
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	584	743
工具、器具及び備品(純額)	636	754
建設仮勘定	—	67
有形固定資産合計	1,220	1,565
無形固定資産		
のれん	710	593
ソフトウェア	1,297	1,436
ソフトウェア仮勘定	461	455
顧客関連資産	399	351
その他	199	178
無形固定資産合計	3,068	3,015
投資その他の資産		
投資有価証券	717	858
繰延税金資産	818	627
その他	1,658	1,755
投資その他の資産合計	3,194	3,241
固定資産合計	7,484	7,822
資産合計	27,492	29,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,515	6,309
1年内返済予定の長期借入金	24	—
リース債務	81	88
未払金	893	1,370
未払法人税等	663	182
前受金	1,505	1,556
賞与引当金	902	447
役員賞与引当金	—	60
受注損失引当金	41	16
瑕疵補修引当金	0	—
資産除去債務	5	—
その他	580	657
流動負債合計	10,212	10,689
固定負債		
リース債務	373	313
繰延税金負債	87	90
長期前受金	517	489
退職給付に係る負債	43	47
資産除去債務	287	320
その他	112	112
固定負債合計	1,422	1,375
負債合計	11,634	12,065
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	995	1,175
資本剰余金	1,111	1,267
利益剰余金	14,290	15,019
自己株式	△1,568	△1,568
株主資本合計	14,829	15,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12	△7
為替換算調整勘定	3	3
その他の包括利益累計額合計	△8	△4
新株予約権	160	190
非支配株主持分	876	960
純資産合計	15,857	17,040
負債純資産合計	27,492	29,105

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	36,724	40,916
売上原価	30,695	34,000
売上総利益	6,028	6,915
販売費及び一般管理費	4,515	4,760
営業利益	1,513	2,154
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
持分法による投資利益	—	11
補助金収入	18	—
雑収入	4	8
営業外収益合計	24	21
営業外費用		
支払利息	6	5
持分法による投資損失	236	—
為替差損	10	4
雑損失	4	3
営業外費用合計	258	14
経常利益	1,279	2,162
特別利益		
投資有価証券売却益	86	2
特別利益合計	86	2
特別損失		
減損損失	—	14
事務所移転費用	66	—
特別損失合計	66	14
税金等調整前四半期純利益	1,299	2,150
法人税、住民税及び事業税	411	580
法人税等調整額	82	192
法人税等合計	494	773
四半期純利益	805	1,376
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	781	1,326
非支配株主に帰属する四半期純利益	24	50
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	5
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	△23	4
四半期包括利益	781	1,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	759	1,330
非支配株主に係る四半期包括利益	22	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。